

平成20年度
リユースカップ導入実証試験調査
(その2)
報告書

平成20年(2008年)11月

(財)地球・人間環境フォーラム

はじめに

福岡 Yahoo! JAPAN ドームでのリユースカップ実証実験

循環型社会形成の一翼を担う 3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動の一つであるリユースカップの利用は、わが国ではサッカー場、音楽イベント、地域のお祭りなど広範囲に広がっており、利用者からも好評を得ているケースが多い。

しかし、プロ野球のような年間数百万人の観客が集まるイベントではリユースカップの導入事例がなく、リユースが社会の仕組みとして定着するにはいくつもの課題が残されているのが実情である。

本報告書は、北海道洞爺湖サミットの開催に合わせ、環境省が明治神宮野球場、福岡 Yahoo! JAPAN ドーム（ヤフードーム）で行ったリユースカップ導入実証試験のうち、ヤフードームでの試験（その2）結果である。

プロ野球場では初めての試みであったが、利用者の反応、回収体制、カップ洗浄のあり方などについて貴重な実験を行うことができた。ヤフードームでは、スーパーボックスと呼ばれる貴賓室（184室）での導入となったが、アンケートの結果では 88.4%の人が「また使ってみたい」とリユースカップに好意的な回答を寄せてくれた。

収容人数が数万人という球場全体の観客を対象にした場合、安全な回収体制、運営経費、スピーディーで衛生的な洗浄方法をどのようにするかなど検討課題は残されているものの、野球場のような大規模施設においても導入実現の可能性があることがわかった。

なお、本報告書には、野球場以外でのリユースカップ、リユース食器の取り組み事例についても現状と今後の可能性を記載した。

最後に、ヤフードームの運営に当たる福岡ソフトバンクホークスマーケティング（株）の全面的なご協力をいただき、準備期間が短かったにも関わらず、実証試験が滞りなく行えたことに心より感謝いたします。

平成20年11月

(財)地球・人間環境フォーラム

目次

はじめに

福岡 Yahoo! JAPAN ドームでのリユースカップ実証実験

第1章	福岡 Yahoo! JAPAN ドームにおける実証試験	1
第1節	背景と目的	1
第2節	実施概要	1
1.	場所及び期間	1
2.	リユースカップの様態	3
3.	リユースシステム	4
4.	洗浄・保管	6
5.	広報	8
6.	アンケート	10
第3節	実施結果	11
1.	来場者数、リユースカップ回収数	11
2.	配布、回収方法	12
3.	洗浄・保管および衛生面	12
4.	ごみ減量効果	12
5.	経費	13
6.	利用者アンケート	13
第4節	実証試験から見えてきた課題	17
1.	カップの形状	17
2.	コスト	17
3.	スケジュール	18

第2章	野球場におけるリユースカップ導入可能性の考察	20
第1節	野球場での利用者に受け入れられるか	20
第2節	費用	20
第3節	オペレーション	22
第3章	リユースカップ、リユース食器普及状況	23
第1節	大規模施設での導入例	23
第2節	小規模会場での導入例	27
第4章	今後のリユースカップの導入可能性	29
第1節	準備期間とコスト	29
第2節	ロケーション別の導入可能性	32